

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和4年4月13日

事業所名 障害児通所支援 にじいろポケット

保護者数(児童数):34 回収数:16 割合47%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標	
環境・体制整備	①	子供の活動等のスペースが十分に確保されているか	6	2	室内に物品をなるべくおかないよう工夫		
	②	職員の配置や専門性は適正であるか	8			基準は満たしているが、増員は希望する	
	③	事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12		安全管理上問題が生じる場合は対処している。		
適切なし支援の提供	④	子供と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10				
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6		現在他施設との交流がない状況で今後検討していく	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がなされたか	11			コロナ禍で短時間での対応となっているため、丁寧に相互理解が必要。	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1	送迎時の対応となっている。	時間を取り話し合の場面も検討が必要である。	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1		モニタリング時だけではなく細やかな支援が必要と考える。	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7		感染予防のため休止状態であり、状況を見据え、今後の再開・方法の検討が必要	
	⑪	子供や保護者からの苦情について、対応の体制が整備するとともに、子供や保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9		送迎時や電話またはメールでの対応をしている。		
	⑫	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9		記録用紙での伝達または対面で行っている。		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11			お便りは毎月発行しているが、行事等はホームページの更新を随時していく。5月よりオクレンジャー導入となるため活用していく。	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	14				
	非常時の対応	⑮	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7			今年度保護者へのマニュアル提示をしていく。
		⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その必要な訓練が行われているか	5	1	防災管理責任者を中心に1回～2回/年実施	実施している内容を保護者へ発信していく
満足度	⑰	子供は通所を楽しみにしているか	12	1			
	⑳	㉓事業所の支援に満足しているか	11	3	可能なことを実施する	コロナ禍の期間が長くなってきており、満足度は低下していると考え。	